

S セメスター 全学体験ゼミナール「じっくり学ぶ数学 I」  
レポート問題 (その 1 1)

問 1. 2 行 2 列の行列  $A, B, C$  に対して,

$$\begin{pmatrix} A & B \\ O & C \end{pmatrix}$$

という形の 4 行 4 列の行列を考える. ただし,  $O$  は 2 行 2 列の零行列とする. このとき, 以下の問に答えよ.

(1) いま, 行列  $A$  の列ベクトルを,

$$A = \begin{pmatrix} \mathbf{a}_1 & \mathbf{a}_2 \end{pmatrix}$$

と表わす. このとき, 2 行 2 列の行列  $B, C$  は, 勝手にひとつずつ固定して,

$$\begin{aligned} f(\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2) &= \begin{vmatrix} A & B \\ O & C \end{vmatrix} \\ &= \begin{vmatrix} \mathbf{a}_1 & \mathbf{a}_2 & B \\ \mathbf{0} & \mathbf{0} & C \end{vmatrix} \end{aligned}$$

という関数  $f: \mathbb{R}^2 \times \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$  を考えると, 関数  $f(\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2)$  は,

(イ) 多重線型性

(ロ) 歪対称性

という二つの性質を満たすことを示せ.

(2) 2 行 2 列の単位行列の列ベクトルを,

$$\mathbf{e}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{e}_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^2$$

として,  $f(\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2)$  を求めよ.

(3) 行列式

$$\begin{vmatrix} A & B \\ O & C \end{vmatrix}$$

を, 行列  $A, B, C$  の行列式を用いて表わせ.

(4)  $A, B$  を 2 行 2 列の行列とすると、行列式

$$\begin{vmatrix} A & B \\ B & A \end{vmatrix}$$

を、行列  $A, B$  の行列式を用いて表わせ。

( ヒント : 基本変形を施すことで、

$$\begin{vmatrix} A & B \\ B & A \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} * & * \\ O & * \end{vmatrix}$$

という形に変形してから、(3) の結果を用いよ。また、すぐに基本変形の仕方が思い浮かばない場合には、 $a, b \in \mathbb{R}$  として、

$$\begin{vmatrix} a & b \\ b & a \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} * & * \\ 0 & * \end{vmatrix}$$

という形に変形するためには、どのような基本変形を施せばよいのかということを考えてみよ。)

問 2.  $m, n \in \mathbb{R}$  として、

$$E_{(\tau)} = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}, \quad E_{(\square)} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & m \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}, \quad E_{(n)} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & n & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix},$$

とする。このとき、以下の問に答えよ。

(1) 基本行列  $E_{(\tau)}, E_{(\square)}, E_{(n)}$  の行列式を求めよ。

(2) 3 行 3 列の行列  $A, B$  に対して、 $\det(AB) = \det A \cdot \det B$  となることを用いて、

$$\begin{cases} \det(E_{(\tau)}A) = \det(AE_{(\tau)}) = -\det A \\ \det(E_{(\square)}A) = \det(AE_{(\square)}) = \det A \\ \det(E_{(n)}A) = \det(AE_{(n)}) = n \cdot \det A \end{cases}$$

となることを示せ。

(3) 行列式は、行、あるいは、列に関して、「多重線型性」、「歪対称性」という性質を持つことを用いて、直接、

$$\begin{cases} \det(E_{(\tau)}A) = \det(AE_{(\tau)}) = -\det A \\ \det(E_{(\square)}A) = \det(AE_{(\square)}) = \det A \\ \det(E_{(n)}A) = \det(AE_{(n)}) = n \cdot \det A \end{cases}$$

となることを示せ。